



Japanese Welfare Society in Australia

# Hope Connection Newsletter No.82

ホープコネクションニュースレター第82号 発行日2017年8月1日

発行者 Hope Connection Inc.

\*\* Hope Connection Inc. はビクトリア州政府に登録の非営利非宗教の社会福祉団体です \*\*

住所/郵便宛先 c/o Mi Care, 40 Grattan St. Prahran VIC 3181 電話(電話相談兼用) 0408-574-824

ホームページ: <http://www.hopeconnection.org.au>e-mail: [info@hopeconnection.org.au](mailto:info@hopeconnection.org.au)

## ホープコネクションからのご挨拶

今号は避寒先のウエールズからのご挨拶です。

ウエールズの夏の温度は通常19~25度とオーストラリアでの生活に慣れている者にとっては過ごし易い最高の気候ですが、今年は6月半ばからイングランド、ウエールズで寒暖計はうなぎ上り、30度を越えるという日が4日ほど続き異常気象となりました。気象庁の記録で6月の温度としては40年ぶりとのことで、言うまでもなくプールやビーチは人気の場となりました。メルボルンの夏の高温に慣れている身にとっては、それほどきつくは感じませんでした。何ととっても嬉しいのは日照時間が長いことです。午後9時を過ぎてもまだ明るい! スポーツを楽しむ姿をあちらこちらで見かけます。でも夏至を過ぎると少しずつ日暮れが早くなり、9月上旬には早くも秋を感じさせます。

近年はどここの国にいても異常気象や異常な事件、事故が発生しています。6月にはオーストラリア、ヴィクトリア州ベイサイドのブライトン市での銃撃事件、イングランドではロンドンのグレンフィルタワー・アパートメントの大火災によりビルが全焼、夜中の出火で逃げ遅れた人が多く悲惨な事故となりました。またロンドン市内でラマダン祭

を祝う為に教会に来ていた人たちの中に小型バンが突っ込み死亡者を出したり(テロ事件として調査中)。

パリやブルッセルでも大事になりかねないテロの未遂事件が起きました。ポルトガルでは森林地帯地方でブッシュファイヤー、ここでも人命を多く亡くしています。これらの惨事をテレビやラジオで知り深い悲しみを感じる一面、その周りにいる人たちが助け合う姿はとても温かく、同時に思いやり精神の大事さを改めて感じさせられました。

英国ではEUからの正式離脱の為、メイ首相がEUメンバーとの会議で5年以上英国在住のEU同盟国からの移住者には滞在を許可、とのニュースがあり、不安を抱えていた多くの人たちにとって安堵をもたらしてくれたようです。

また、フランスでは、政治家未経験、39歳という若きマクロン氏が大統領に選ばれました。

東京の都議選では小池百合子氏が率いた都民ファーストが、第1党となりました。

改革のかすかな兆しを感じられます。

さて、ホープコネクションの次回カルチャースクールは、9月に行うブックフェアです。詳細は最後のページをご覧ください。多くの方たちの参加をお待ちしています。

## メルボルンでの読書と私

久保田満里子

私がオーストラリアに来たのは1975年。40年以上も前のことです。日本で貯めたなけなしのお金をはたいて、日本語教師になる夢を持ってメルボルンにきました。日本では友人から「活字中毒」と言うあだ名をつけられていた私ですが、その頃メルボルンで日本の書籍を手に入れるのは、至難の業でした。

私が初めてメルボルンで日本語の本を借りたのは、メルボルン大学の図書館からでした。その頃メルボルン大学には縁もゆかりもなかったのですが、日本人の友人から、メルボルン大学の日本人の司書に頼めば、日本語の本を借りれるよ、と聞き、その司書の人に会いに行き、本を貸してもらいました。管理体制が整っている今からでは考えられないことです。

そのあとは、モナシュ大学の大学院に入学したこともあって、研究書を読むのに忙しい生活が始まりました。スインバン工科大学やメルボルン大学で日本語教育に従事した時も、英語の研究書を読むことに追われ、日本語の本を読む機会はあまりありませんでした。せいぜい、夫の勤務している日本の会社が毎月送ってくれる「婦人公論」を読むくらいでした。

今では、お金を出さなくても、日本の本が気軽に楽しめるようになりました。ありがたいことです。インターネットで青空文庫と検索すれば、著作権の切れた夏目漱石や森鷗外などの文豪の作品も手軽に読めます。メルボルンのフリンダース・レーンにあるメルボルン市の図書館では、日本の雑誌が読めるようになったし、モナシュ大学の日本研究センターでは、一般の人も利用できる漫画喫茶もできました。それのみならず、最近、メルボルンで古本が大量に出回るようになりました。オーストラリアに住んでいた日本人の中に日本に帰る決意をした人が増え、その人たちが本を残していつてくれるからです。

手軽に本が手に入るようになったことに加えて、退職後、読書会の世話役のボランティアを始めたことが、私の読書熱をあおったと言えます。

読書会の世話役を引き受ける前は、余暇に読む本と言っ

たら推理小説に限られていましたが、読書会の世話役を始めて、自分では決して買わないだろうなと思うジャンルの本も、会員の人に勧められて、読むようになりました。読書会と言うと、同じ本を読んで、感想を述べあうというのが定番となっていますが、この読書会では、自分の読んだ本を紹介してもらい、その本に興味を持った人が、その本を紹介者から借りて、また感想を述べるという形式をとっています。メルボルンでは、参加者全員が同時に同じ本を手に入れることは困難だし、また自分の興味のない本を読まなければいけないというのは、苦痛だろうと思ったからです。

今の私は、娯楽のためと、自分の書きたい小説の資料調べのための読書で、一日があつという間に終わる毎日を過ごしています。

編集部追記：

久保田満里子さんはJCV文化サロンで毎月1回開かれる読書会の世話役をされています。また、第二次世界大戦前にビクトリア州に移住し日本語教師をしていた稲垣豪志をモデルにした伝記小説「豪志とローズ」、スワンヒルで稲作に取り組んだ高須賀穰の妻イチコをモデルにした「高須賀イチコの物語」を星雲社より出版されています。

## Special Thanks to –

庭野平和財団、Good Neighbours Trust Fund、New Hope Foundation、Moshi-Moshi ページ Pty Ltd.、メルボルン在住匿名希望の方、Victorian Multicultural Commission、伝言ネット、ユーカリ出版、Education Logistics、JCV、豪日協会、佐川義人、Timothy McDonald、Michael Morris、洋子マーフィー、NEC、メルボルン日本人会、大隈良譲、Sandra Roeg、SBS 日本語放送、天野行哲、加茂前千代、Christine J. Rodan、吉澤通明、山本和儀、Mark Preston、Stacey Steele、鈴木月子、田村真美、村越庸子、Jennie Rice、City of Stonnington、City of Port Phillip、Kiyomi Campbell、ZZZ、日豪プレス、Maria Palmares、嘉志摩江身子、2006日豪交流年、新保道滄、Leigh Trinh、岩本幸子、入江鈴子、齊藤喜夫、前川由紀子、与那覇麻紀、峰岸夏子、樽井千賀子、永野智子、Mayumi International、古橋和子、ワタダチユキ、水上徹男、根本雅之、森下恵子、励中行、横田仁子、占部英高、稲葉育代、中嶋一憲、スターク章子、伊藤修、浅原由江、南川紗楽、細野祥子、Mrs. K. K.、福島尚彦、石堂裕子、Ethnic Council of Victoria、City of Bayside、山口陽子、中嶋伊予子、桜井多恵子、Andrew Laing（敬称略・順不同）

ホープコネクションの活動は多くの方々のご支援、ご好意、ご協力に支えられています。誠にありがとうございます。



## 鈴の会アクティビティ・グループ紹介 お茶会 編集部

鈴の会はホープコネクションが創立された12年後の2008年にエイジドケアの一環として発足しました。多民族多文化社会のオーストラリアではそれぞれの民族のコミュニティがあり、イタリアのように人口の多いコミュニティでは、高齢者のための施設や病院、娯楽施設などがあります。しかし、メルボルンの日本人コミュニティの規模は小さく、資金も限られ、とてもイタリアコミュニティのようなことはできません。けれども、年をとってから、日本語で話が出来て、日本食をたべたり、日本の文化にふれることができる環境があったらどんなにいいだろう、という思いが強くありました。そんな時期に、当時82歳だった入江鈴子さんという方との出会いがありました。入江さんはヨーロッパと豪州で30年ほどの海外生活を送られて、様々なボランティア活動をされていました。当時、深刻な病気で療養中だった入江さんは高齢になって病んだ時に、日本語で話せて、日本語で援助を受けられることが、どんなに貴重であるかを身をもって示され、「是非とも日本人のためのエイジドケアを作って」と私たちを励まして逝かれました。幸いにも2008年に以前から提携のあったMigrant Resource Center (現New Hope Foundation) から無料で会場提供が受けられることになり、シニアの方々、エイジドケアに関心のある方たちが毎週1回集まる場所を作ることができました。鈴の会の名称は、入江鈴子さんの

お名前から頂きました。発足当時は参加者が少なく、どうなることかと心配しましたが、幸いボランティアでアクティビティを指導して下さる講師の方々に恵まれ、種目も参加者も増えてきました。現在は書道教室、麻雀教室、手芸教室、お茶会、社交ダンス教室、パソコン自習教室、伊勢型紙教室、絵画教室、パソコン講座の9種目があります。これらのアクティビティに興味はあるけれど、実際にどの様なことをしているのか知りたい、という方々のために、これから紙上で紹介していきたいと思います。まず初めは、いつも席がたりない位に人気のあるお茶会から。お茶会は名目どうり、皆さんが集まってお茶を飲み、お菓子や果物などを食べながら雑談する会です。他のお教室と異なり、これというアクティビティはありません。話題はお隣同士のおしゃべりから、メルボルンの生活情報、健康維持、時には文化比較や国際情勢など様々です。途中から麻雀教室に席替えする人、お茶会の後、すぐに社交ダンス教室に行かれる人など、皆さん気軽に参加をされています。年に1度くらいですが、韓国グループとの交流もあり、韓国料理教室に招いていただいたり、お返しに日本の民謡と一緒に踊ったりなどもしています。とにかく具体的な目的のない、しいて言えば、2時間ほど日本語で楽しくおしゃべりしましょう、という会なので気軽に参加してみてください。



## ホープコネクションからのお知らせ

### 日本語電話相談 困り事・悩み事、お気軽に匿名でどうぞ

電話番号：0408 574 824 受付時間：木曜日 午前10時～午後3時まで

ご相談はEメール: [info@hopeconnection.org.au](mailto:info@hopeconnection.org.au) でも随時受け付けています。

お気軽にご利用下さい。

### ホープコネクション・カルチャースクール

## ブックフェア

恒例のホープコネクション・カルチャースクール。今回は9月23日にブックフェアを開催します。皆さんのお手元にある本を持ち寄って、本の交換会をいたしましょう。あなたは読んでしまっ置き場に困っている本でも、他の人にとっては読みたい本かもしれません。書棚を整理して本を持ち寄りませんか。本の交換と一緒に、読後感や意見の交換もいたしましょう。JCV文化サロンで読書会を開いておられる久保田満里子さんにお越しいただき、メルボルンでの「読書」についてお話しをしていただきます。(尚、会場での書籍の販売は出来ませんので、本の交換をたてまえとし、交換されなかった本はお持ち帰りいただくことになります。)

日時：9月23日(土) 10時～12時

場所：グラタン・ガーデンズ・コミュニティー・センター

(Grattan Gardens Community Centre, 40 Grattan St., Prahran)

参加費：5ドル(コーヒー、紅茶付き)。

参加ご希望の方は9月21日(木)までに上記、日本語電話相談へ電話又はEメールでお申込みください。

チャイルドケア、駐車場をご希望の方はお申込の際に知らせてください。(駐車スペースは先着順)

## シニア・サービス 鈴の会

ホープコネクションでは、毎週木曜日の午後、プラーンにあるコミュニティセンターで、シニアの方々を中心にアクティビティーを催しています。参加資格無し。年齢、性別、国籍、すべて何でも結構。ただ、日本語が話せる方が便利かと……。参加費無料、参加申込の必要もありません。第2週のお茶会では、日本語図書の出しもしています。このところ、麻雀好きの方が毎週木曜日に集まって1時半から4時半頃まで卓を囲んでいます。腕白慢のみならず初心者の方も歓迎。第1木曜日3時からの麻雀教室では、伊藤修さんがボランティアでコーチをしてくださっています。

第1木曜日：書道教室(1時から)

麻雀教室(3時からアクティビティホール)

手芸教室(1時半からアクティビティホール)

第2木曜日：お茶会(1時から)

社交ダンス教室(3時から)

第3木曜日：パソコン自習教室(1時から)

伊勢型紙教室(1時から)

第4木曜日：絵画教室(1時半からアクティビティホール)

場所：Grattan Gardens Community Centre, 40 Grattan Street Prahran

日時：毎木曜日、午後1時から

参加費：無料

問合せ：上記のホープコネクション電話相談・メール相談へ

ご高齢または健康上などの理由で、車の運転や公共交通機関のご利用が困難な方には、会場までの送迎をご用意できる場合もありますので事前にお問い合わせください。